

小規模事業者による ちよびつと 「省エネ」活動事例



近年、世界的なエネルギー価格の高騰に加え、円安の影響によって輸入物価が上昇。小規模事業者において光熱費は経費の中で大きな割合を占めることから、直接的な利益の圧迫要因となるものです。また自社のみならず、地球温暖化への対応としても「脱炭素化」の動きは加速化していくことが予想されます。

この流れを受け、高岡商工会議所では専門家とも連携し、「省エネ診断」や省エネに関する講習会、設備投資の補助金申請支援等を強化。今こそ小規模事業者でもできる省エネ対策を進めることで、エネルギーコストの削減はもとより、環境への貢献、企業のイメージアップに取り組んでみませんか？

この事例集では、小規模事業者にもはじめやすい省エネ対策を中心に紹介していきます。皆様の省エネ活動のヒントとなり、実際の活動に結びつくこときっかけになれば幸いです。

高岡商工会議所の省エネ支援メニュー

- 専門家による無料簡易省エネ診断
- 各種省エネセミナーの実施
- 省エネ関連補助金の紹介と申請支援
- 省エネ事例集の作成 など

高品質の木材を短納期で配送

株式会社オークは全国の木材産地とネットワークを持つ「木のプロフェッショナル」企業だ。

代表の黒田さんは業歴 50 年以上。住宅資材から積層材、漆器用の合板まで、顧客企業が求める最適な品質の木材を短納期で届けている。

「一口に木といっても奥深くてね。熱に強いものから塗装がしやすいもの、木肌そのものが美しいものもある。お客さんの要望に合わせて、電話一本で届けられるのがウチの強みかな」

ただ近年はウクライナ情勢や円安の影響もあり、木材の確保に苦戦。仕入単価は跳ね上がり、収益性も急速に悪化した。会社の後継者候補で、黒田さんの姪に当たる経理担当のハッ橋さんは、振り返る。「一週間ごとに見積金額が変わってしまうような状況でした。もちろん価格の急騰は弊社単独でどうにかなるものではありません。とにかく他にコスト削減ができるところはないかを考えました。真っ先に思い付いたのが省エネ化です」

商工会議所に相談したところ、まずは「省エネ診断」を受けてみてはどうかと提案を受けた。聞けば、商工会議所の専門家派遣制度である「エキスパートバンク」に、省エネを得意とする専門家がいるという。「診断のみであれば無料で相談できると聞き、すぐにお願ひしました。会社に訪問をいただき、ご指摘を受けたのが照明の LED 化だったんです」

オークの事務所と木材倉庫には 28 台の蛍光灯があった。現状の電力使用量の実績と、LED 化した場合の見込み利用料を試算してもらったところ、年間で 70% ほどの改善効果が得られることが分かった。「これなら 3 年ほどで回収できると思い、LED 工事を決断しました。いったん回収してしまえば、あとは会社にとって利益になります。それなら早いに越したことはないな、と」

黒田代表もその場で GO サインを出した。



補助金活用により初期投資額を軽減

「とはいえ、できるだけ投資額も小さくしたくて……（笑）」

照れたように笑うハッ橋さん。「再度、商工会議所さんに相談すると、ちょうど県が補助金を公募していると教えてもらいました」

富山県の中小企業ビヨンドコロナ補助金で「省エネ・コスト削減枠」（現在は生産性向上枠等に統一）が新設されたときだった。採択されれば、投資額の一部が補助金として交付される。

「ハッ橋から聞いて、そりゃいい話だねと。採択されるかどうかは分からんけど、出すだけ出してみればどうやって言いました」

結果は見事採択。LED 改修工事の 3/4 が補助金として交付された。

「締め切りまで時間もなかったんですが、商工会議所さんにもお手伝いいただきながら事業計画を作成しました。すべてのコストが上がっているときで、正直なところ投資額を工面するのも簡単ではありませんでした。採択が決まったときは本当にうれしかったですね」

慣れない計画書作成に四苦八苦したハッ橋さんの苦勞が報われた瞬間だった。





▲ LED 化した事務所と倉庫

検品やライトの交換作業も大幅に削減

「今後はもっと電気代は高騰するだろうからね。あのとき LED にしといてよかったよ」

安堵した表情を浮かべる黒田代表に、ハッ橋さんも続ける。

「省エネ効果だけではなく、作業効率の面でも大きなメリットがありました。例えば倉庫の天井は 4 メートルくらいあるのですが、ライトが切れるたびに在庫の木材を動かして、はしごをかけて交換していたんです」

LED は寿命が約 10 年。頻繁に発生していた蛍光灯の取り換え作業はなくなった。

「あとはとにかく明るくなったね。うちは 1 ミリ刻みの商品を取り扱っているけど、2.5 m / m の薄物は 500 枚単位で検品してるから、目に負担がかかって仕方なかった。熱も減るから、空調の効率も上がったし、木も劣化しない。これならもっと早くやっときゃ良かったかな (笑)」

外部環境はまだまだ不透明。それでも必要としてくれる顧客に、これからも品質の高い商品を届けられるといい。当社が納めた商品が、高岡漆器の素材に用いられているところを見ると、届けていかなければならない、とも思う。

「伯父から事業を引き継ぐことは、正直、プレッシャーがあります」最後に、ハッ橋さんの口から出た言葉。「それでも今の仕事は大好きで、やりがいもありますから」

どちらも本音なのだろう。だからこそ、強い想いが感じられた。



株式会社オーク

代表 黒田 一彦

住所 富山県高岡市向野町5-17

電話 0766-23-1607



▲ HP はこちら